

SDGsの推進

本市では、「第2次南あわじ市総合計画(後期基本計画)」においてSDGsの「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現をめざしています。本計画においても、以下の3つのゴールの達成をめざし、基本目標や取り組みを推進します。

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**



あなたの家庭では

家庭の中であなたはどのような役割をしていますか? 下の項目の中で、自分がよくしていることには○、時々することには△をつけてみてください。



食事の用意
(買い物、料理)



掃除
(部屋、トイレ、お風呂)



お弁当づくり



食事の後片付け



洗濯物
(洗う、干す、たたむ)



家計簿をつける



ごみ出し



育児



地域の仕事
(PTA、自治会)



家族みんなが毎日を気持ちよく過ごすために大切な役割はたくさんあります。あなたはどうか? 役割が家族の誰かに偏っていることはなかったでしょうか?

「男性であれば○○、女性であれば○○」等、誰しも知らず知らずのうちに抱いてしまっている思い込みがあります。日頃から、家族や周りの人と話し合い、思い込みに気づいたり、見直しを行うことが大切です。

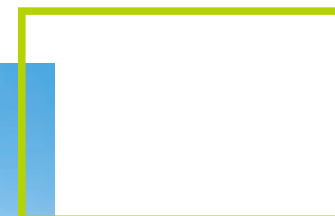
第3次南あわじ市男女共同参画計画 [概要版]

令和5 (2023) 年3月

発行：南あわじ市総務企画部ふるさと創生課
〒656-0492 兵庫県南あわじ市市善光寺 22 番地1
電話：0799-43-5205 FAX：0799-43-5305

MINAMI AWAJI

すべての人が、もっともっと活躍するまちへ
～多様性を認め合い、できることから着実に～

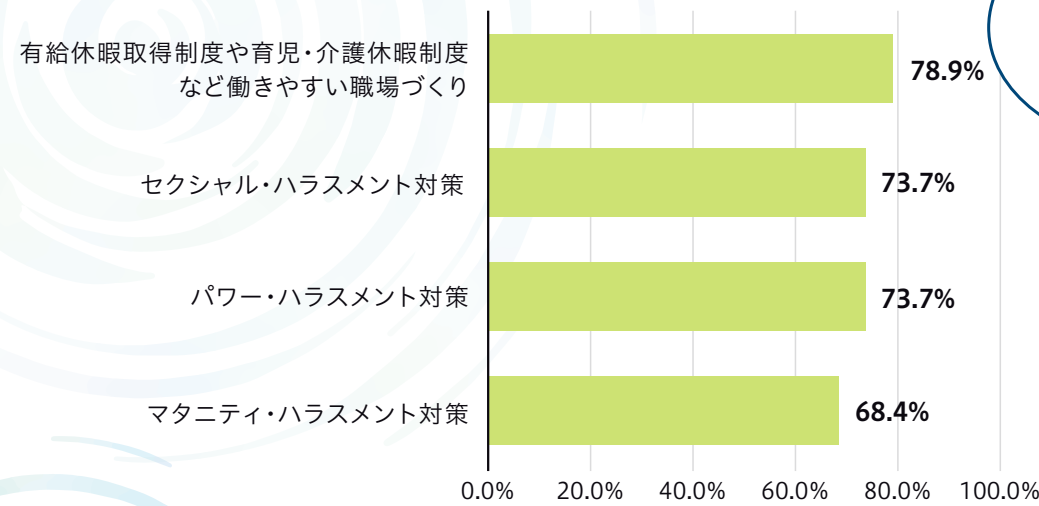


第3次

南あわじ市 男女共同参画計画 [概要版]

市の現状

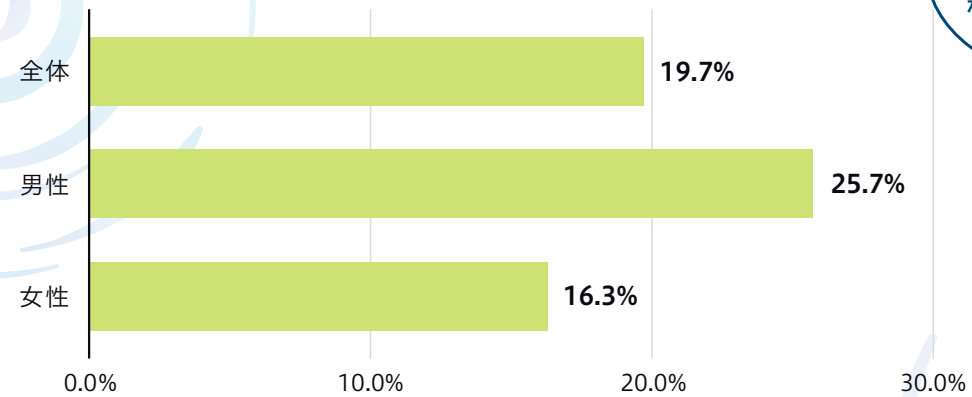
▼制度の設置や対策を行っている事業所の割合



働きやすい環境づくりやハラスメントの対策を行っていない事業所もまだまだあるのね。



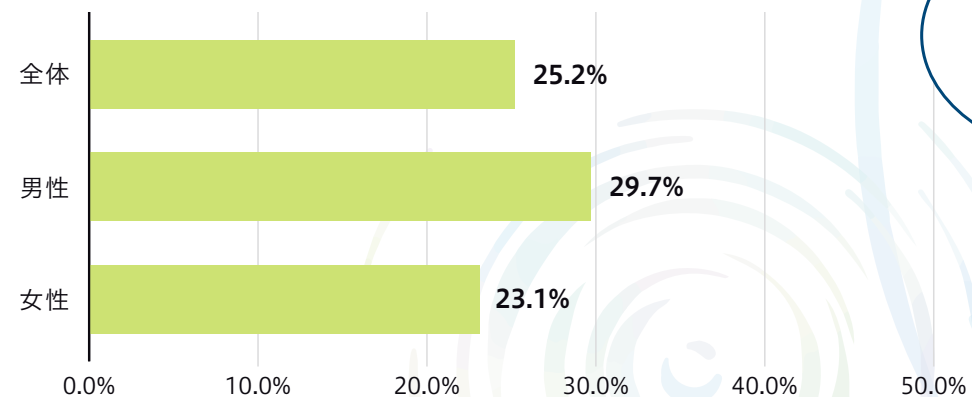
▼職場（採用、業務内容、昇進、昇給、職場環境等）で平等であると感じる市民の割合



働いている人の多くは職場で平等と感じていないんだね。



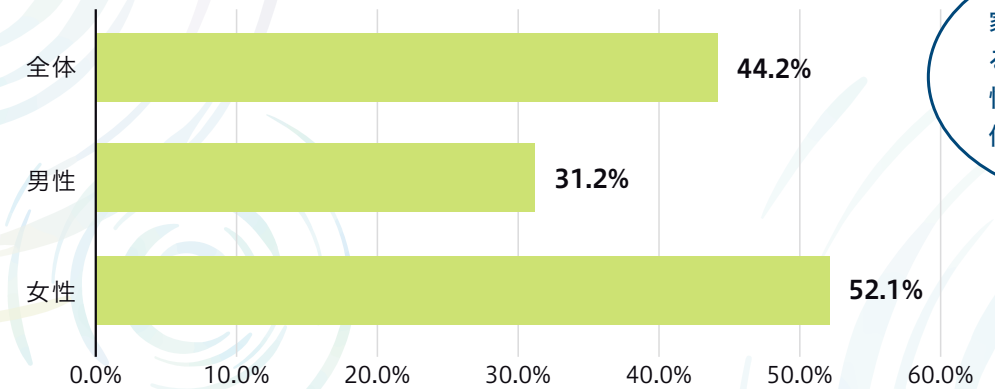
▼地域活動の場（自治会・PTA等）で平等であると感じる市民の割合



まだまだ、地域でもジェンダー平等が実現できていないと感じている人が多いなあ。



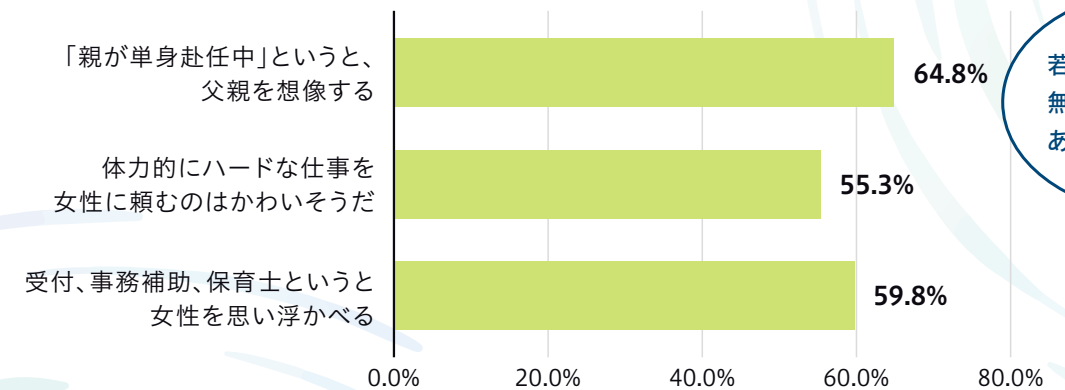
▼「男は仕事、女は家事・育児」という考え方に同感しない市民の割合



家庭での責任に対する男性の意識は、女性に比べてまだまだ低いのね。



▼次の項目について「そう思う」と回答した高校生の割合



若い人たちの中にも無意識の思い込みがあるのかなあ。



計画の重点課題

職場

- ◆性別による雇用形態や平均給与、役職等の格差／◆仕事優先のライフスタイル
- ◆男性の育児休暇、介護休暇等の制度活用の浸透不足
- ◆特定の職種における性別によるイメージの固定化
- ◆職場におけるハラスメント対策の徹底不足

地域

- ◆意思決定の場における女性の意見の反映や参画不足
- ◆地域活動等における男性優遇意識の固定化／◆若い世代からの性別役割分担意識の定着
- ◆子育て・就労環境の魅力不足による若者の転出超過／◆高齢単身世帯の増加

家庭

- ◆家事・育児・介護等への男性の参画不足／◆家庭の役割分担における理想と現実の乖離
- ◆DVやデートDV問題の発生

計画の概要

計画の期間

令和5(2023)年度から令和9(2027)年度までの5年間

計画の位置付け

- ・「男女共同参画社会基本法」に定められた「市町村基本計画」であり、女性活躍推進法に基づく「女性の職業生活における活躍の推進に関する施策についての計画(市町村推進計画)」を含むもの
- ・「男女共同参画の推進」を掲げた「第2次南あわじ市総合計画(後期基本計画)」を上位計画に、市の各種個別計画(「第2次南あわじ市配偶者等暴力(DV)対策基本計画」等)と整合

計画の全体像

本計画では、総合的な目標値と基本目標ごとの目標値の達成に向けた取り組みに対してKPIを設け、毎年度進捗管理を行います
また、進捗把握や評価を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行います

基本理念

すべての人が、もっともっと活躍するまちへ ～多様性を認め合い、できることから着実に～

- 職場や地域等での社会生活の場面を中心に、「性別に捉われず誰もが活躍できる」「なりたい自分になれる」よう、そのために「すべきこと」「できること」から市民一人ひとりが意識的に取り組んでいくことが必要かつ重要です
- 「性別を含めた様々な多様性をさらに認め合うことの重要性を全世代で共有」しながら、社会生活での男女共同参画をより進めるため、本市が一丸となって『できること』から着実に取り組み、その先の男女共同参画社会の実現へ前進を図ります

総合的な目標値

社会全体で、性別に関わらずすべての人が平等であると感じる市民の割合

区分	現状	令和9(2027)年度
全体	14.4%	50%以上
男性	21.8%	50%以上
女性	10.1%	50%以上



基本目標 1

誰もが自分らしく働き活躍できる

基本施策(1) 誰もが働きやすく、活躍できる職場づくり

- ①性別に捉われない職場環境づくり
- ②一人ひとりの能力に応じた評価・人材登用の推進
- ③ハラスメント防止対策の推進／④多様な性についての正しい理解

基本施策(2) 誰もがなりたい自分になるためにチャレンジできる環境づくり

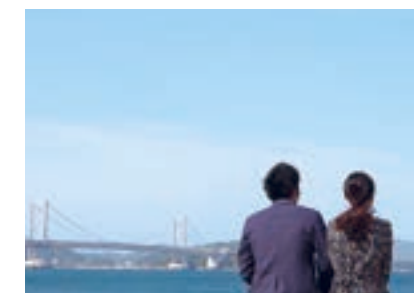
- ①女性のチャレンジの推進／②若者のチャレンジの推進
- ③高齢者のチャレンジの推進

目標値

職場において性別役割分担意識を持たない

・職場(採用、業務内容、昇進、昇給、職場環境等)で平等であると感じる市民の割合

区分	現状	令和9(2027)年度
全体	19.7%	50%以上
男性	25.7%	50%以上
女性	16.3%	50%以上





基本目標 2

誰もが地域で生き生きと活躍できる

基本施策(1) 多様な生き方・価値観を尊重できる意識づくり

- ①男女共同参画について学ぶ機会の提供／②学校における男女共同参画の推進
- ③多様な性についての正しい理解

基本施策(2) 誰もが参画できる地域づくり

- ①政策決定の場への女性登用の促進／②男女共同参画による地域活動の推進
- ③男女共同参画による防災対策の推進

基本施策(3) 互いに協力し、支え合う地域づくり

- ①子育て世帯への支援／②ひとり親家庭への支援／③高齢者の生活への支援
- ④生涯を通じた健康づくり

目標値

地域において性別役割分担意識を持たない

・地域活動の場(自治会・PTA等)で平等であると感じる市民の割合

区分	現状	令和9(2027)年度
全体	25.2%	50%以上
男性	29.7%	50%以上
女性	23.1%	50%以上

若い世代が性別役割分担意識を持たない

・男は仕事、女は家事・育児という考え方について同感しない高校3年生の割合

区分	現状	令和9(2027)年度
全体	90.0%	100%
男性	84.5%	100%
女性	94.6%	100%

基本目標 3

互いを認め合い、より暮らしやすい毎日へ

基本施策(1) 互いを認め合い、助け合う家庭づくり

- ①多様な家庭への理解促進
- ②男性の家事・育児・介護への参画促進

基本施策(2) DV(ドメスティック・バイオレンス)の根絶

- ①暴力を根絶し、人権侵害を許さないための啓発
- ②相談機能や自立支援の充実

目標値

家庭における性別役割分担意識を持たない

・「男は仕事、女は家事・育児」という考え方に同感しない市民の割合

区分	現状	令和9(2027)年度
全体	44.2%	100%
男性	31.2%	100%
女性	52.1%	100%

DVの根絶

・DVという言葉聞いたことがないとした市民の割合(DVを知る)

区分	現状	令和9(2027)年度
配偶者からのDV	5.1%	0%
デートDV	19.0%	0%

・DVの経験や見聞きしたことがあるとした市民の割合(DVを根絶する)

区分	現状	令和9(2027)年度
配偶者からのDV	24.4%	0%
デートDV	8.8%	0%